



News Letter



VOL.16
2022年8月号



2022年度より「男女共同参画キャリア支援センター」は

「ダイバーシティ・キャリア支援センター」に名称変更しました。

医学部2年生キャリア教育 2021年12月4日(土)

2021年12月4日(土)1限から3限の医学部第2学年「実践医学」の授業で「卒前キャリア教育」を開講しました。昨年同様、全国の医学部卒前教育で男女共同参画に関する講義・ワークを实践されている、蓮沼直子先生(広島大学大学院医系科学研究科 医学教育学教授)にご依頼し、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン形式で行いました。

明石副センター長に「パラリンピック」と題した基調講演をしていただいた後、蓮沼先生の司会・進行により、グループに分かれて討論と発表を行いました。ロールモデル講演は、本学の卒業生である高桑由希子講師(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)より、「女性医師のキャリア～仕事と子育ての両立～」としてご自身の経験をお話いただき大変貴重な時間となりました。

その後蓮沼先生によるキャリア教育の総括の後、明石副センター長にご挨拶いただいて終了しました。

出席者からのアンケート結果では、内容について「かなり満足・満足」が77%、興味について「極めて適当・適当」が69%との回答が得られました。「同じ医師でも多様なキャリアがあり、自分の目的に合ったキャリア計画を立てることが重要」など、これまで漠然としていた卒業後のキャリアを考える有意義な機会であるとともに、「性別に関係なくキャリアを形成できるような環境の重要性」も認識できたことが窺えました。

受講者アンケート回答より(抜粋)

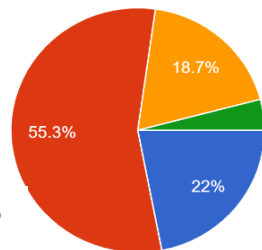
～医師のキャリアを考えてみてどう感じましたか？～

- ・医学生のうちから考えておくことが重要だなと感じた。
- ・医師のキャリアにはさまざまな選択肢があり、よく考えて選択をしていく必要があると感じた。
- ・今まで医師という職業は、ライフワークバランスが難しいものだと考えていたが、今日の授業を通して工夫の仕方により、さまざまな選択肢があり、出産後も仕事を続けていけると分かり、とても勉強になった上、希望をもつことができた。
- ・自分の将来のビジョンが、どれくらい実現するのかわからなくて、楽しみに変わった。
- ・今まで何となく頭の中で考えていたことをアウトプットすることで今後の自分の生活がより良い方向へ向かうことを自分なりに確信することができた。



内容の満足度はいかがでしたか？

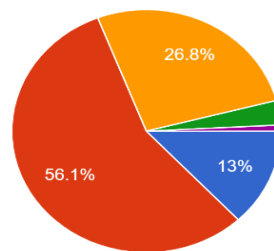
- かなり満足
- 満足
- やや満足
- 不満
- とても不満



あなたの興味に対して適当でしたか？

123 件の回答

- 極めて適当
- 適当
- やや適当
- やや不適当
- 極めて不適当



大学院キャリア教育 2021年12月11日(土)

大学院総合教育科目Ⅲの講義では、鈴木(黒川)真奈絵指導教授(女性医師・研究者支援部会員)が「研究者としての生涯構想」を担当しております。2021年度は12月11日(土)にオンデマンド形式で行なわれました。

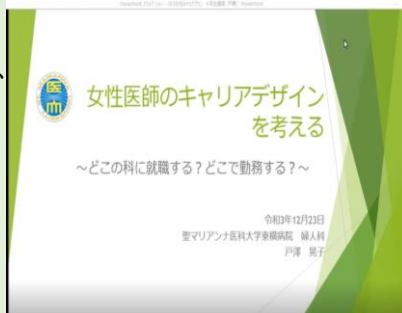
講義では、医師のキャリア形成のタイムコースとその中の大学院の位置づけについて、医師が研究に携わる利点、どのようにして生涯研究を続けていくか等についてお話があった後、医師歴20～30年で実際に研究を継続しているロールモデルが数例紹介されました。

その後、各大学院生より、1. 大学院卒業後、どんな研究をしたいか、2. 研究のため留学する場合、1) どの大学・研究機関に留学し、2) どんな研究をしたいか、3. 留学後、生涯に渡り、1) どのようなスタイルで、2) どんな研究をしていきたいか、について、レポートによる報告がされました。大学院生の皆さんは、各自の希望・方向性を元に明確な計画を打ち出しており、聖マリアンナ医科大学大学院から若い研究者が次々と巣立っていくのが非常に楽しみとなっております。

医学部4年生の臨床実習オリエンテーションにおいて、産婦人科学 戸澤 晃子病院教授(保育・介護支援、勤務体制検討部会員)より、「女性医師のキャリアデザインを考える～どこの科に就職する?どこで勤務する?～」というタイトルで、ロールモデル講演が行われました。

先生ご自身のキャリアについて、大学卒業後どのように臨床・研究先を選んだのか、早く一人前になるためにどのように経験を積んでいったかを紹介されました。また、臨床・研究の両立で激務であった時期をご自身の「暗黒期」と呼ばれ、「暗黒期」は、誰にでも訪れるが、研究や診療を止めずに続けていくことが大事であり、その為に、時にはギアを下げてマイペースでやっていけばよい、当時は辛かったが今となってはよい思い出となっているとお話してくださいました。

講義の最後には「医師になって苦労はあります。それはどんな仕事でも同じです。就職に向けてのこの時期に一度、自分を見つめ直してください。」とコメントされ、悩みがあればいつでも相談してくださいとの心強いお言葉をいただきました。



搾乳室の閉鎖について

総合教育センター内に設置しておりました搾乳室は、諸事情により現在閉鎖しています。ご了承ください。



ベビーシッター費用補助

現在、2022年度のベビーシッター派遣事業割引券申込を受付中です。詳細はセンターにお問い合わせください。

保育・介護支援ガイドブック～動画視聴者アンケート～

保育・介護支援部会で作成しています「保育・介護支援ガイドブック」の紹介動画を昨年12月に配信しました。視聴した方からのアンケートでは今回の動画について「役立ち度」「理解度」とも90%超の回答をいただきました。また今後企画してほしい講演会等として「病児保育」「病気の際に使える制度」などのご意見がありました。今後講演会を企画する際の参考とさせていただきます。

視聴してくださった方、アンケートにご回答くださった方、どうもありがとうございました。

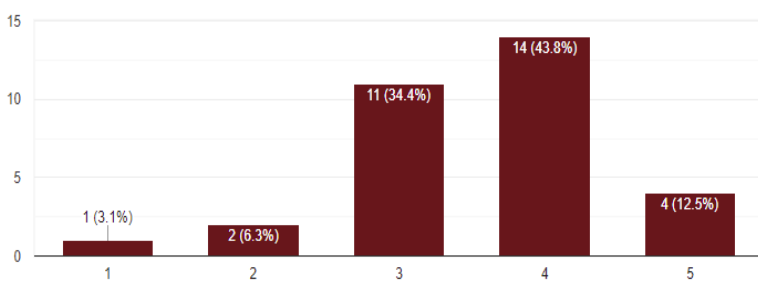
紹介動画は当センターのHPに掲載していますので、ご興味がありましたらご覧ください。

・妊娠・出産・育児期(約7分) ・介護期(約9分) ・サポート制度等(約4分)

→<https://www.marianna-u.ac.jp/career/support/nurture.html>

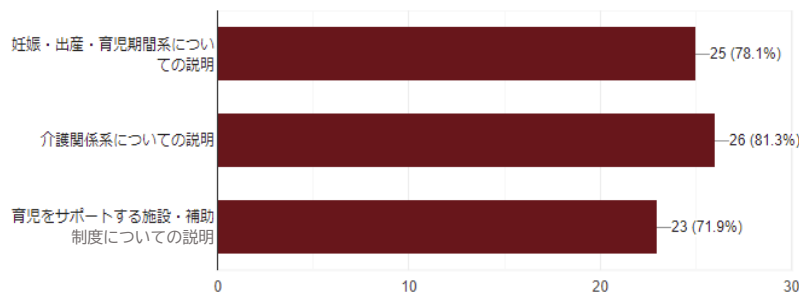
動画の内容はどの程度、役に立ちましたか?

32件の回答



今回視聴した動画を選択してください。(複数回答可)

32件の回答



今後、講演会等を開催した場合の形式についての希望をお聞かせください。

32件の回答



職種

32件の回答

- 管理栄養士・栄養士
- ソーシャルワーカー
- メディカルコーディネーター
- 看護助手・診療アシスタント
- クラーク
- 事務職員
- 研究技術員
- 秘書
- 教員(医師等)
- 看護師・助産師
- 薬剤師
- 臨床検査技師
- 診療放射線技師
- 臨床工学技士
- 理学・作業・言語療法士
- 視能訓練士
- 学生

